

メディカルコントロール協議会における事後検証の状況

(総務省消防庁調べ)

メディカルコントロール体制の確保

メディカルコントロール

傷病者の救命率や予後の向上のため、①業務のプロトコルの作成、②医師の指示、指導・助言、③救急活動の事後検証、④救急救命士等の教育等により、医学的観点から、救急救命士の救急救命処置等の質を保障

地域メディカルコントロール協議会

(医療機関(救急医など)、郡市区医師会、消防機関、県(衛生部局、消防部局)等)

- ・業務のプロトコルの作成
- ・医師の指示、指導・助言体制の整備
- ・救急活動の事後検証体制の確保
- ・救急救命士等の教育機会の確保
- ・地域の医療機関と消防機関の連絡調整 等



都道府県メディカルコントロール協議会

(医療機関(救命救急センター長など)、都道府県医師会、消防機関、県(衛生部局、消防部局)等)

- ・地域のメディカルコントロール体制間の調整
- ・地域メディカルコントロール協議会からの報告に基づき指導、助言 等

全国メディカルコントロール協議会連絡会

- ・全国の関係者間での情報共有及び意見交換の促進等



傷病者の発生

救急搬送

- ・救急救命士による救急救命処置
- ・救急隊員による応急処置



救急医療機関



メディカルコントロール協議会の状況

○メディカルコントロール協議会の設置状況(平成20年8月1日現在)

- ・ 都道府県メディカルコントロール協議会 47協議会
- ・ 地域メディカルコントロール協議会 248協議会

(注) 都道府県メディカルコントロール協議会が地域メディカルコントロール協議会を兼ねている都道府県が8あるため(東京都、石川県、山梨県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、高知県)、重複を除くとメディカルコントロール協議会の総数は287となる。

○メディカルコントロール協議会の開催状況(平成19年度)

- ・ 都道府県および地域メディカルコントロール協議会 829回(平均2.9回)
(ただし、小委員会等を含む)
- ・ 全国メディカルコントロール協議会連絡会 3回

都道府県ごとの開催回数別(平成19年度)

	1~10回	11~20回	21~30回	31~40回	40回以上
都道府県ごとのMC協議会開催回数(小委員会等を含む)	23 (49.0%)	13 (27.6%)	3 (6.4%)	3 (6.4%)	5 (10.6%)

(注) 消防庁調べ

2

メディカルコントロール協議会における事後検証の状況(1)

都道府県	都道府県MC		地域MC		全心肺停止症例数
	事後検証数	うち心肺停止症例数	事後検証数	うち心肺停止症例数	
北海道	5	4	106	88	4,724
青森県	0	0	1,399	1,376	1,537
岩手県	0	0	814	799	1,534
宮城県	0	0	1,990	1,613	2,375
秋田県	0	0	1,400	1,370	1,819
山形県	50	50	209	173	1,360
福島県	0	0	394	394	2,072
茨城県	0	0	2,593	2,175	3,628
栃木県	82	82	862	768	1,896
群馬県	0	0	4,880	1,312	1,801
埼玉県	0	0	70,611	2,615	5,287
千葉県	0	0	4,526	3,042	4,626
東京都※	7,238	3,836	—	—	11,716
神奈川県	0	0	90,644	6,212	7,254
新潟県	3	3	49	40	2,610
富山県	0	0	723	549	904
石川県※	1,157	858	—	—	858
福井県	6	6	10	9	656
山梨県※	1,508	995	—	—	769
長野県	0	0	1,539	1,522	2,220
岐阜県	0	0	568	166	574
静岡県	0	0	2,339	2,336	4,591
愛知県	0	0	6,026	5,979	5,982
三重県	0	0	837	523	1,474

※印は地域MCを組織しない都道府県

都道府県	都道府県MC		地域MC		全心肺停止症例数
	事後検証数	うち心肺停止症例数	事後検証数	うち心肺停止症例数	
滋賀県	0	0	1,312	1,066	1,111
京都府	0	0	1,903	2,175	2,176
大阪府	0	0	6,447	4,898	11,345
兵庫県	0	0	3,277	2,984	4,160
奈良県※	814	814	—	—	1,065
和歌山県※	1,100	829	—	—	1,068
鳥取県	0	0	678	382	586
島根県	0	0	1,569	701	958
岡山県	0	0	1,342	1,332	1,575
広島県	0	0	3,285	2,165	2,433
山口県	0	0	0	0	調査中
徳島県※	3,912	599	—	—	599
香川県※	4,852	848	—	—	848
愛媛県	3	2	1,189	1,135	1,492
高知県※	721	719	—	—	731
福岡県	0	0	9,957	3,538	3,927
佐賀県	451	215	439	210	703
長崎県	0	0	1,180	993	1,192
熊本県	7	3	867	742	2,023
大分県	0	0	44	44	900
宮崎県	0	0	618	560	1,011
鹿児島県	0	0	68	62	1,826
沖縄県	0	0	235	205	1,241
合計	21,909	9,863	226,929	56,253	115,237

(注) 消防庁調べ(平成19年度)

3

メディカルコントロール協議会における事後検証の状況(2)

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	0	0	4,828	特になし
地域 1	272	272	679	・目撃ありかつバイスタンダー処置(胸骨圧迫又は人工呼吸)があった症例 ・除細動、薬剤投与、気管挿管施行症例 ・外傷症例で意識レベルがJCS100以上、又はショックの症例 ・医師が要検証と判断した症例 ・救急隊員が要検証と判断した症例
地域 2	150	103	228	重症以上、特異事案及び医師の検証が必要であると判断される症例
地域 3	1,728	680	1,053	・ホットライン使用症例(特定行為・ドクターヘリ要請等) ・現場滞在時間が外因性20分以上、内因性30分以上を要した症例 ・二次病院へ搬送されたアンダーtriage症例 ・検証医、若しくはMC担当者が必要と判断した症例 ・現場活動プロトコルから逸脱しているもの
地域 4	469	278	278	・心肺停止・ロード&ゴー症例、その他参考となる症例 ・指導医から検証票提出の指示
地域 5	217	217	217	全心肺停止症例
地域 6	738	734	795	心肺停止傷病者の搬送事例、救急隊員が事後に医師に対し指導・助言を要請した事例。
地域 7	441	417	856	・接触～収容10分以上 ・収容～現発10分以上 ・接触～心電図測定5分以上 ・初診医が必要と認めた症例 ・除細動実施 ・気管挿管実施 ・薬剤投与実施 ・心拍再開 ・救急隊目撃CPA
地域 8	511	341	520	死亡患者、死亡に準じる重症患者 ・重症外傷患者 ・その他特に検証を必要と救急隊員が判断した場合

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	0	0	1,111	特になし
地域 1	242	241	241	心肺停止症例と救急隊または一次検証者が医師の検証を依頼した症例
地域 2	392	185	185	心肺停止症例 ・プロトコルから逸脱した活動を行った症例 ・初診医師が必要と判断した症例
地域 3	112	112	112	心肺停止症例
地域 4	185	162	162	心肺停止症例 ・重症症例のうち特に必要と判断したもの
地域 5	138	138	138	心肺停止症例
地域 6	170	170	215	医師の指示を受け病院搬送した心肺停止症例
地域 7	73	58	58	心肺停止症例 ・重症症例並びに救急隊が医師に指導、助言を要請した症例

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	3	2	1,492	各地域MCから症例を1例ずつ選出し事後検証を実施
地域 1	414	374	528	心肺停止症例(救命士措置なしを除く) ・一般市民のAED使用症例 ・救急隊及び医師が必要であると判断した症例
地域 2	428	415	535	心肺停止症例 ・ACS症例
地域 3	347	346	429	心肺停止症例 ・重症外傷

(注)消防庁調べ

4

メディカルコントロール協議会における事後検証の状況(3)

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	0	0	2,072	心肺停止症例
地域 1	3	3	485	心肺停止症例
地域 2	0	0	652	
地域 3	391	391	391	
地域 4	0	0	544	

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	6	6	656	心肺停止事例、特定行為を実施した事例、現場での救命処置や、搬送が特異な事例で、地域MC協議会で県MC協議会での検証が適当と認められた事例。
地域 1	4	3	279	心肺停止事例、特定行為を実施した事例、現場での救命処置や、搬送が特異な事例
地域 2	2	2	80	
地域 3	2	2	143	
地域 4	2	2	154	

	事後検証数	事後検証対象症例		
		うち心肺停止症例数	全心肺停止症例数	
都道府県	0	0	調査中	事後検証は地域メディカルコントロール協議会の役割であると考えている
地域 1	0	0	調査中	消防本部ごとに各地域の検証医(医療機関)からの事後検証を受けている
地域 2	0	0	調査中	
地域 3	0	0	調査中	
地域 4	0	0	調査中	

(注)消防庁調べ

※ 救急搬送の側面についても検証している団体は少数にとどまっている(搬送時間(現場滞在時間を含む)について検証対象としているのは3団体、アンダーtriageについて検証対象としているのは2団体)。